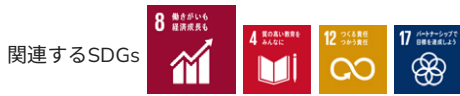


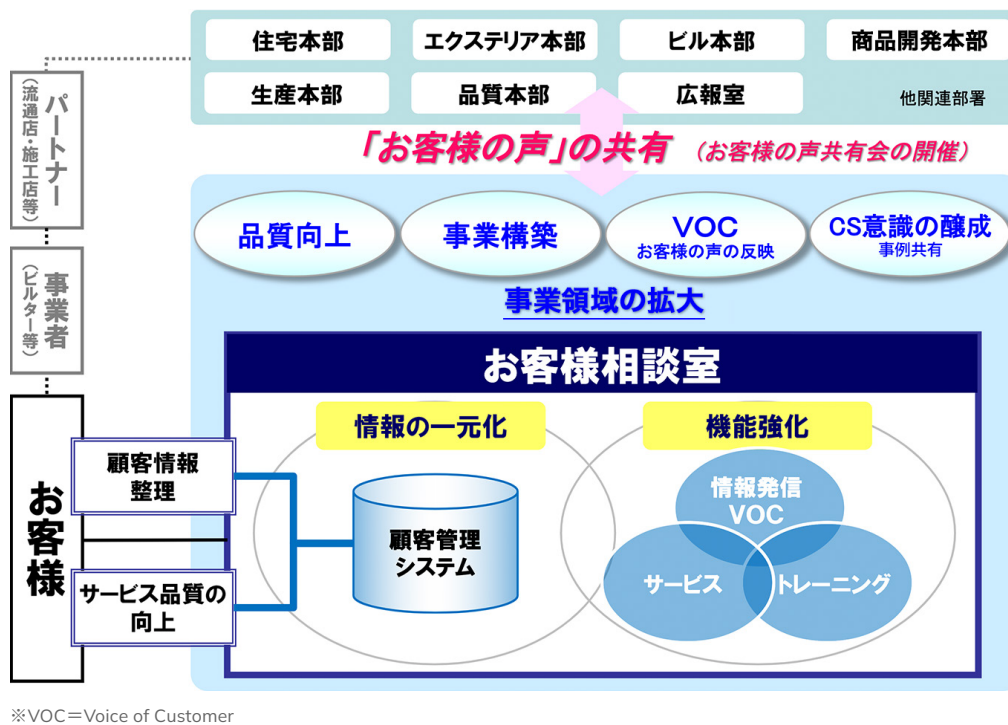
ステークホルダーとの取り組み



■ お客様相談室の取り組み

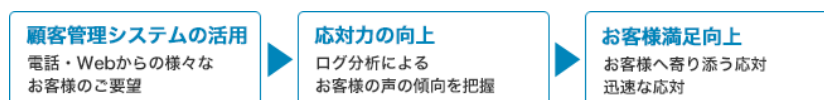
YKK APでは、お客様との窓口であるお客様相談室を通じて「お客様の声」を収集の上、社内関連部署へ共有し、商品・サービスの改善やお客様目線の情報発信につなげるなど、お客様満足度向上に取り組んでいます。

お客様からの電話、Webによるご相談からアフターメンテナンスなどのお問い合わせに対応しています。YKKグループのコアバリューである「品質にこだわり続ける」をモットーにして一人ひとりのお客様の声を真摯に受け止め、常にお客様の満足を最優先に行動しています。

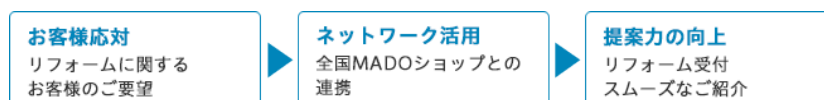


お客様対応力強化の取り組み

お客様相談室やメンテナンスセンターでは、顧客管理システムを用いて、お客様のご要望を分析し、より質の高いサービスをご提供できるように準備しております。



お客様からのリフォームのご相談・ご要望が増えており、その対応として全国MADOショップのネットワークを活用し、ご紹介活動をすすめています。お客様の声やご期待に応えられるよう応対力・提案力向上を目指しています。



■ ショールームの取り組み

地域のお客様とつながるショールーム展開

YKK APでは日本の各地にお住まいになるお客様が、実際に商品を見て・触れて・感じていただける場として全国各地にショールームを展開しています。ショールームでは専門のアドバイザーが、お客様のニーズや困りごとに応じて最適な商品をご提案することで、お客様の住まいづくりやより良い暮らしへのサポートをしています。

また、建築関係者様向けの施設であるP-STAGEやプレゼンテーションルームでも一般消費者の方にご来場いただくことができ、多くの地域・お客様との接点の場としています。

全国展示施設一覧（2024年7月現在）

ショールームの属性

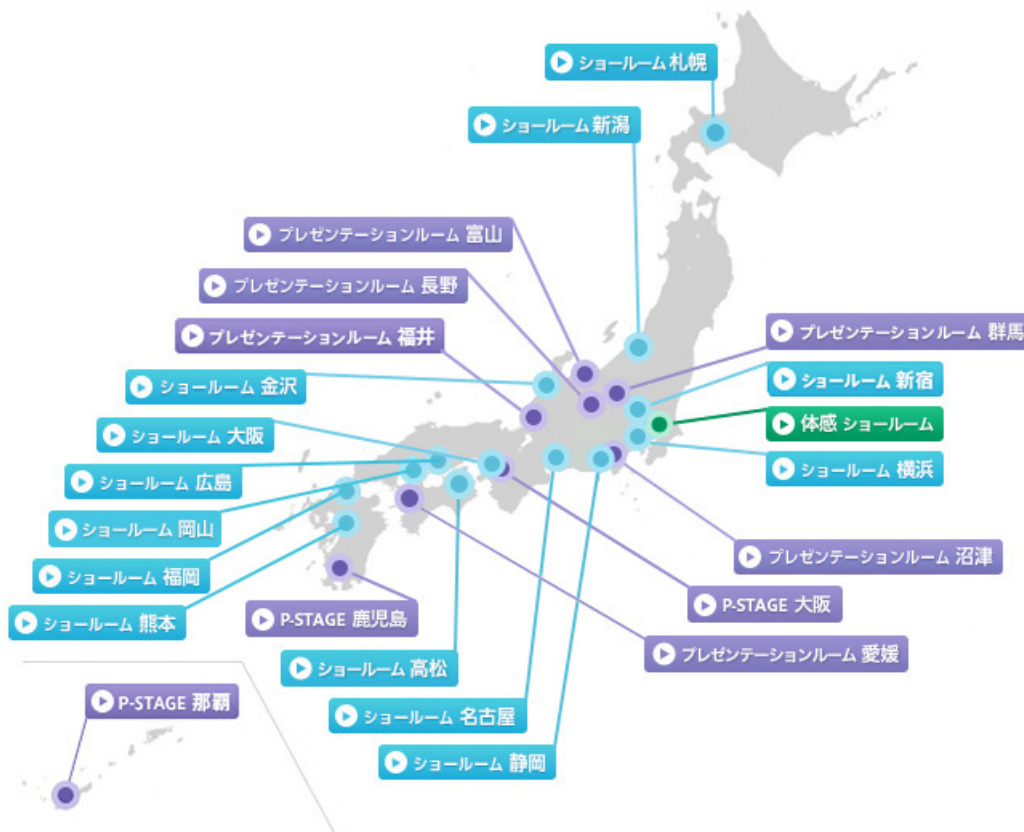
体感ショールーム：YKK AP単独の体感型ショールームです。

コラボレーションショールーム：水まわりや床材、窓など一度でいろいろな商品を見ることができるショールーム

※札幌・新宿・金沢・名古屋・大阪・広島・高松・福岡は、TOTO・DAIKEN・YKK AP コラボレーションショールーム、新潟・横浜・静岡・岡山・熊本は、TOTO・YKK AP コラボレーションショールームです。

P-STAGE：建築関係者様の商品確認にも活用いただいている展示場です。

プレゼンテーションルーム：建築関係者様の商品確認にも活用いただいている中小規模の展示場です。



画像を拡大する

お客様に窓の大切さを知っていただくために

ショールームでは単に商品を展示するだけでなく、夏と冬の環境を再現した実験機などを工夫することにより、実際の性能や効果などをより具体的にお客様に感じていただき、窓に求められる性能や、窓をしっかり選んでいただくことの大切さをお伝えしています。

夏や冬の環境を再現し、結露の発生状況などを確認いただけるだけでなく、サーモグラフィの色や温度表示の値で窓の素材による断熱性の違いを知っていただき、さらに触って感じていただける体感展示を行っています。



特に、近年、省エネ・CO₂削減・健康への配慮などから、新築や既築住宅の高断熱化・高性能化が求められており、YKK APでは、ショールームを通じて断熱性能の高い樹脂窓の重要性をご提案しています。



既設の窓に内窓をつけたり、カバー工法で新しい窓に取りかえた場合の防音効果なども実験で体感いただけます。

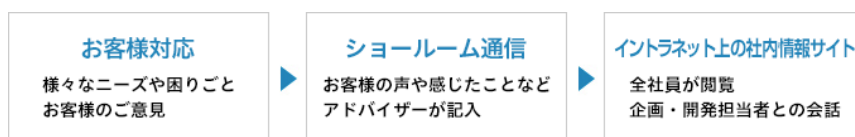


浴室をリモデルした場合、窓も合わせてリモデルできることやその効果も確認いただけます。

※各ショールームによって展示内容は異なります。

社内各部署との情報共有

ショールームアドバイザーがお客様対応を通じていただいたさまざまなご意見や、対応を通じてアドバイザー自身が感じた商品の良いところ、直すべきところなどは、企画・開発部門をはじめ全社に情報共有され、より良い商品づくりやサービスの向上に活かされています。



YKK AP パートナーズサポートスタジオの取り組み

YKK APは、2019年3月、プロユーザー向けの技術提案施設「パートナーズサポートスタジオ」（略称：PSスタジオ）をYKK AP黒部荻生製造所（富山県）内に開設しました。

今、住まいに対する生活者のニーズが高まる一方で、建築業界では深刻な職人不足や高齢化に加え、品質に対する要求が一段と高まっています。

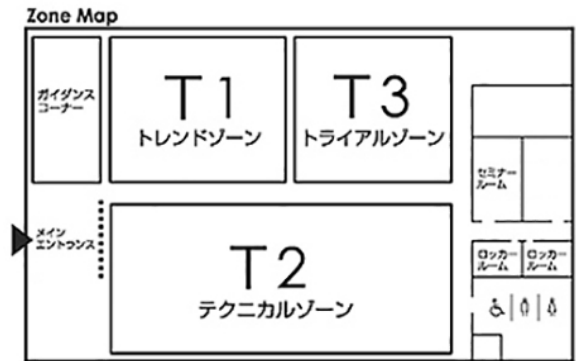
そのような背景から、パートナーであるプロユーザーの方々を抱える個々の課題や要望に応じて、YKK APが持つ技術と品質に基づく提案から課題解決方法を具現化し、一緒に快適で安全・安心な住まいづくりを目指すのが、この「PSスタジオ」です。

施設は、T1（トレンドゾーン）、T2（テクニカルゾーン）、T3（トライアルゾーン）の3つの提案ゾーンから成り立っています。

YKK AP黒部荻生製造所内には、技術の集積地として研究開発を行う「YKK AP R&Dセンター」と、商品価値の評価・検証を行う「価値検証センター」があります。新たに開設した「PSスタジオ」を加えた3つの施設が連携し、さまざまな技術情報や価値提案をワンストップで提供していきます。



パートナーズサポートスタジオ外観



施設ゾーニング図

T1 トrendゾーン

「快適・安全・安心・便利な住まいづくり」を実現する窓・玄関・インテリア・エクステリア周りをご提案

トータルデザイン提案

異なる2面のファサードで展示を構成



[見どころアイテム]

M30 顔認証自動ドア アルカベール 木目型枠コンクリート調 ジーボートPro PV ソーラーパネル搭載用



ジーボートProアウトドアリビング提案と室内窓での空間演出提案

APW331 ハイブリッドスライディング 室内窓 ファミット 室内窓 ガーデンライト VIEW UP



T2 テクニカルゾーン

商品の「品質や技術」をご提案



新商品の安全・安心配慮の設計や組立・施工のポイントを確認できます。



門扉やフェンスの基礎部分を見るだけでなく、施工研修なども可能です。



開口部まわりの耐震補強など、安全・安心な住まいづくりをご提案しています。



持出バルコニーなど使用時はもとより、施工時の安全・安心に関する技術も提案しています。

T3 トライアルゾーン

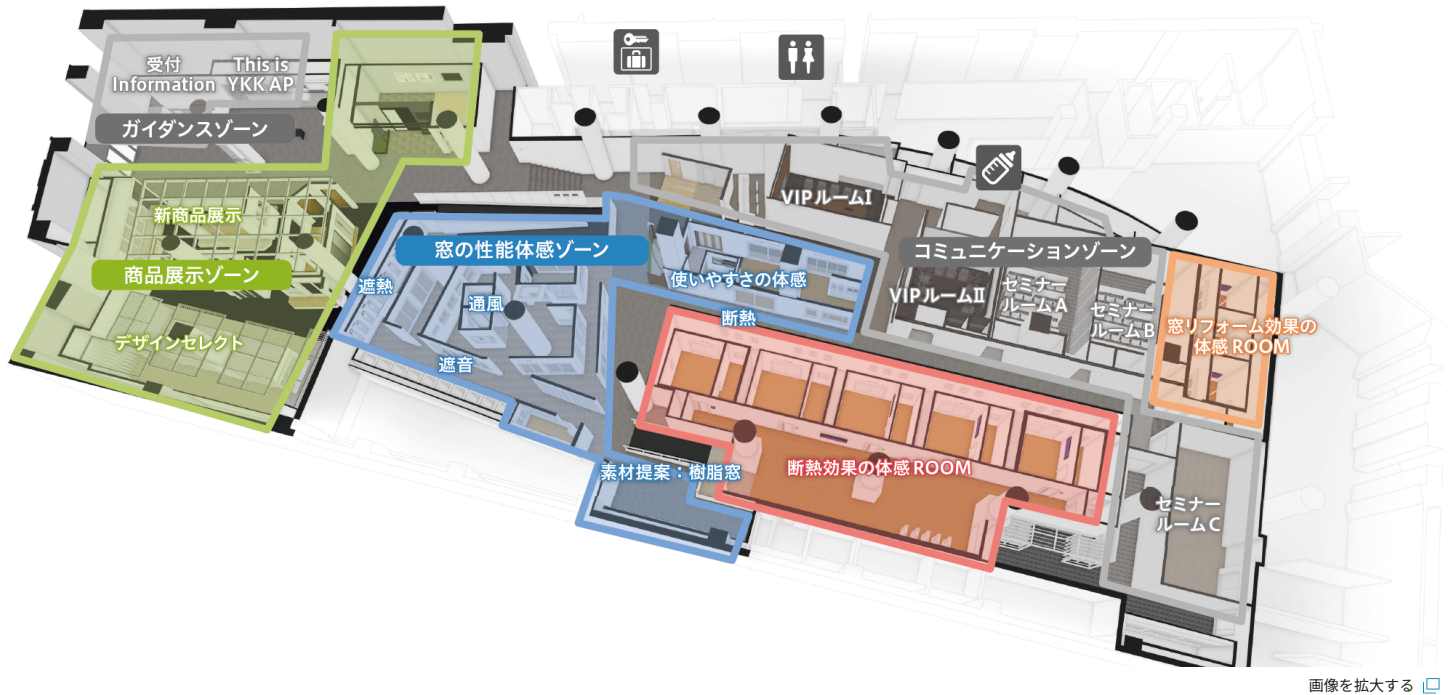
工法をテーマに省施工など木造建築現場の課題に対する新たな取り組みをご提案

YKK AP 体感ショールームの取り組み

YKK APは、2016年6月、建築関係者様を対象とした「体感ショールーム」を品川にオープンしました。

“窓”の価値をダイレクトに体感・訴求できる体感型ショールームとして、高断熱窓の性能の違いを体感いただき、実際に商品をお使いになるお客様へのご提案や情報提供をすすめていただいております。

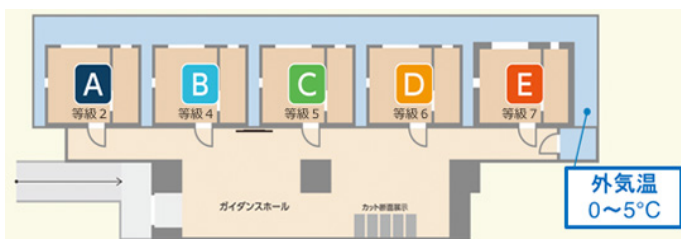
YKK AP 体感ショールーム 館内MAP



窓の性能体感ゾーン

断熱効果の体感ROOMでは、冬の外気を想定した0～5℃に冷やされた冷蔵庫内に、窓と断熱材の仕様が異なる5つの空間を設置しており、①窓辺の寒さと結露 ②室温のムラ ③部屋間の温度差（ヒートショックの原因となる）などを比較・体感いただくことができます。また、よりわかりやすくするために、サーモグラフィなどによる可視化と、電力消費量などの表示も行っており、部屋ごとの省エネ効果の違いも確認いただけます。

(A～Eの各部屋は、住宅性能表示制度における断熱等級毎の性能に合わせた仕様になっています)



断熱効果の体感ROOM 平面図



断熱効果の体感ルーム（暖房室）

【窓の仕様】 A:アルミサッシ+単板ガラス、B:アルミサッシ (Low-E)、C:アルミ樹脂複合窓 (Low-E)、D:樹脂窓 (Low-E)、E:樹脂窓 (トリプルLow-E)

■サーモカメラによる各部屋の表面温度の見える化



■空間全体（9ヶ所）の室温表示による見える化

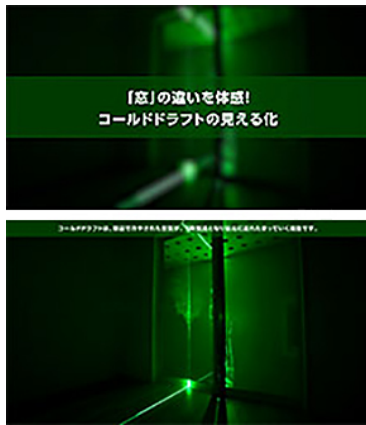


モニター上で、2つの部屋の窓まわりの表面温度や室温を比較表示することで、その差をより明確にご覧いただくこともできます。

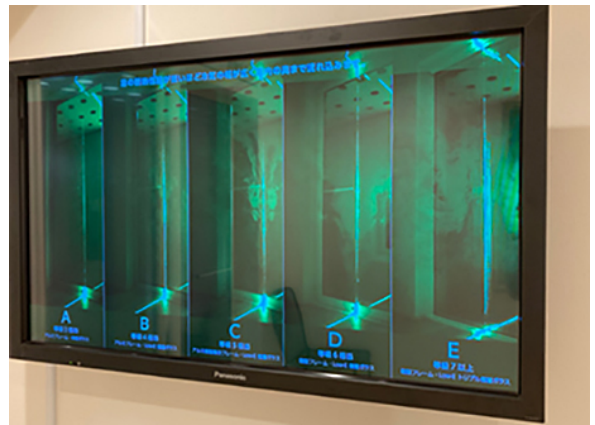
■コールドドラフトを動画で紹介

また、各部屋の窓の断熱性能の違いによるコールドドラフトの発生状況もご紹介しており、樹脂窓など高断熱窓の効果をさらにわかりやすくお伝えしています。

(コールドドラフト：冬に窓辺で冷やされた冷気がガラス面を伝わり床面付近に下降し足元が冷える現象)

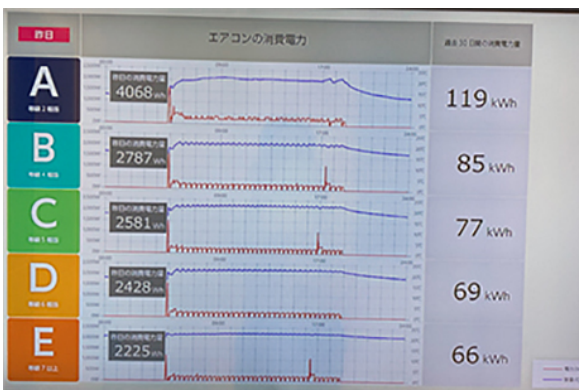


コールドドラフトの見える化
(特殊なスモークと光で空気の流れを見える化しています)



A・Bのアルミサッシでは、スモークが勢い良く下方へ降りていきますが、C（アルミ樹脂複合窓）、D・E（樹脂窓）では、断熱性が高く窓まわりが冷えにくいためほとんどスモークが動きません。

■エアコンの消費電力量の比較



樹脂窓など高断熱窓は、結露の発生を抑制し、熱損失を抑えながら省エネ効果を高めることを実際の体感と合わせて確認いただけます。

その他、窓の基本性能（遮熱性・遮音性・通風／換気性・防犯性・清掃性・使い勝手）を比較できるコーナーにおいても、それぞれの性能の違いを目と耳と体で体感いただくことができます。



遮熱性能（12種類の窓）



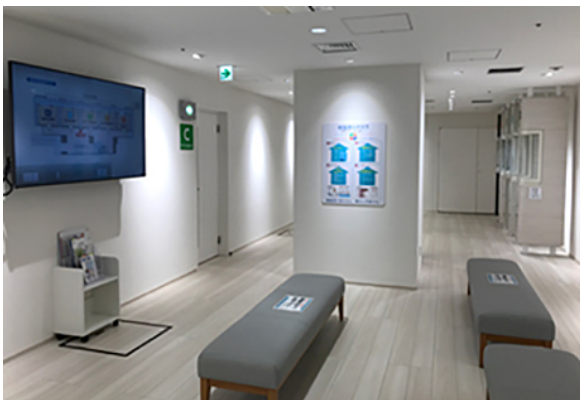
遮音性能（10種類の窓）



防露性（15種類の窓）



使い勝手（ユニバーサルデザイン・清掃性・操作性）



体感ルーム（ガイダンスホール）



通風／換気性（たてすべり出し窓・引違い窓）

TOTO・DAIKEN・YKK AP コラボレーションショールームの取り組み

TOTO、DAIKEN、YKK APの3社は、アライアンスの一環として、TOTO・DAIKEN・YKK AP コラボレーションショールームを展開しています。TOTO・DAIKEN・YKK AP コラボレーションショールームでは、お客様の住まいに必要なさまざまな部位やパーツに合わせて、3社の商品をワンストップで確認できるだけでなく、各社の商品や技術の組み合わせによる空間単位でのご提案を行うことでお客様の暮らしをより快適にする活動を行っています。

TDYの取り組み

TOTO、大建工業、YKK APの3社は新しいライフスタイルを提案するために
リモデル分野で2002年から業務提携しています。

わたしたちが目指すこと

暮らしの中に笑顔を。

水まわり、床や壁、窓やドア。わたしたちのものづくりは、暮らしを形づくるもの。わたしたちが大切にしたいのはその暮らしの中から生まれる日々のかげがえのない笑顔です。



わたしたちからの提案

十人十家

“暮らしの想いを わたしらしく”

10人いれば、10通りの暮らしの想いがある。さまざまな暮らしの想いをかなえる、TOTO、DAIKEN、YKK APからのライフスタイルの提案です。

わたしたちからの約束

グリーンリモデル

グリーンリモデルは豊かな生活と自然を未来につなぐ、TOTO、DAIKEN、YKK APからの約束です。「健康・快適」「安全・安心」「環境配慮」の3つの視点にもとづいて、社会環境や暮らし方の変化に合わせた笑顔あふれる家づくりを支えていきます。



TOTO

DAIKEN



<https://re-model.jp/>



「おうちdeショールーム」の取り組み

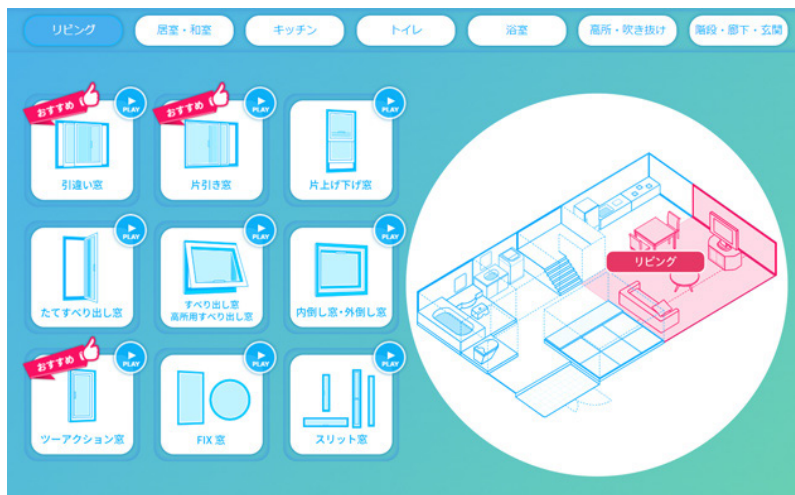


商品選びのポイントをアドバイザーが動画で解説するWEBコンテンツ「おうちdeショールーム」。2020年11月に「窓」と「玄関ドア」、2022年3月に「エクステリア」編を公開しました。

「おうちdeショールーム」の特長

■「窓」選びポイントの紹介

窓の「開き方」にはさまざまな種類があり、設置する部屋や位置、用途に応じて選定することが快適な住まいづくりには重要です。「おうちdeショールーム」では、リビングやキッチン、トイレなど、部屋別におすすめの窓種を表示し、アドバイザーによる解説動画で窓種の特長をわかりやすく紹介。お客様の悩みやご要望にお応えする最適な商品を提案しているアドバイザーならではの視点で「窓」選びのポイントをお伝えします。



「窓の種類」部屋ごとのおすすめの窓と特長を動画で紹介します

■「玄関ドア」選びポイントの紹介

玄関ドアは「おうちの顔」とも言われ、豊富なデザインの中からどのように選んだらよいか迷うアイテムです。また、機能面においても、操作がかんたんで防犯性にも優れた電気錠「スマートコントロールキー」や、扉を閉めたまま通風・換気ができる「通風デザイン」など、利便性や快適性に直結する選択ポイントがたくさんあります。アドバイザーによる解説動画では、「開き方」「デザイン」「通風」「採光」「断熱性」「スマートコントロールキー」の選び方のポイントを紹介。お気に入りのデザインを選んで、メールやLINEでご家族などに共有することもできます。



「玄関ドア」選びのポイント動画

■「エクステリア」選びのポイント紹介

商品から探す

エクステリア商品には様々な種類があります。「おうちdeショールーム」では、住宅のどの部分に使用する商品かを家のイラストで表示します。また、「カーポート」「フェンス」「宅配ボックス・ポスト」については、商品をより詳しく紹介する専用ページを設け、アドバイザーによる解説動画で各商品の役割や特長を分かりやすく紹介するほか、お住まいの地域に適した性能や住宅スタイルからの選定など商品検討に役立つ情報も紹介します。



テーマから探す

【デザイン性】 4つのデザインテイストで、調和のとれた“魅せる住まい”のコーディネートを紹介します。

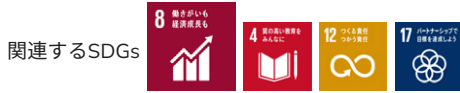
【利便性】 暮らしをより便利にする利便性の高い商品を紹介します。

【快適性】 日射や風など自然エネルギーを取り入れる商品や、プライバシー確保ができる商品などを紹介します。

【安心・安全性】 家族みんなが安心して暮らせる、安全に配慮した商品を紹介します。



ステークホルダーとの取り組み



■ 地域社会への貢献に対するYKK APの考え方

YKK APの企業活動の根底には、“他人の利益を囚らずして自らの繁栄はない”という「善の巡環」の精神が貫かれています。

この精神のもと、“地域との共生”を大切に考え、事業を通じた社会貢献活動をはじめ、地域に根ざしたボランティア活動や環境保全活動、将来を担う子どもたちに向けた次世代教育支援に取り組むことにより、地域社会の課題解決に寄与し、「人と自然が共生する未来」を実現することを目指しています。

国内・海外においてそれぞれの地域のニーズに応じた活動に取り組み、継続していくことで、地域に信頼され、社会に愛される会社であり続けることを目指すとともに、地球環境を未来へつないでいきたいと考えています。

2023年度の総括と今後の展開

2023年度は、国内・海外の各拠点や部門において合計153件の社会貢献活動に取り組みました。今後も継続的に取り組み、地域社会の課題解決に貢献していきます。

テーマ	2023年度計画	2023年度実績	2024年度計画
社会貢献数※1	各拠点2件以上	各拠点2件以上（計153件）	各拠点2件以上

※1：YKK APグループ（国内+海外）

■ 次世代教育支援

協賛企業として学生たちと交流 「窓」から考えるサステナビリティ

SDGsをテーマに高校生と企業が交流・議論するイベント「第4回SB Student Ambassador ブロック大会」が2023年9月～11月に全9大会開催され、四国大会・西日本大会・東日本大会・北陸大会にYKK APが協賛企業として企業講演に登壇しました。講演では、窓メーカーの視点からカーボンニュートラルや、建築における窓の重要性を説明。環境を守る際に生じる課題を整理し、これからの住まいの在り方を議論しました。これからの社会を担う若者世代への気づきを提供するとともに、自社の取り組みを積極的に発信していきます。



教室への内窓設置効果を学生たちへ講演 身近な「窓」から考える気候変動対策

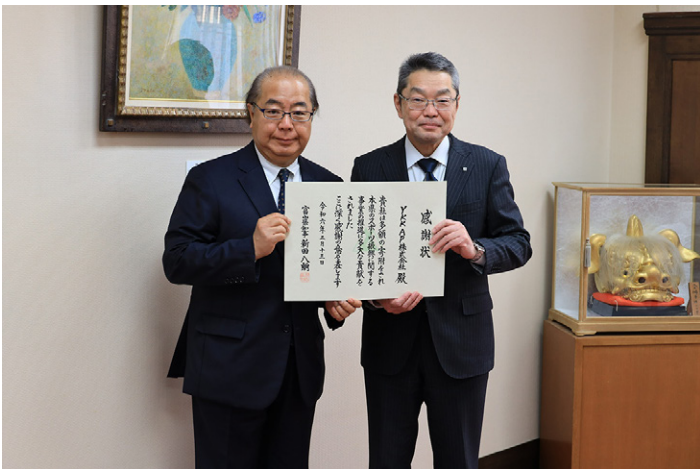
高校生の探究学習・キャリア教育の支援のため、長野県内の高等学校で講演会を開催しました。この活動では、長野県の「生徒発 気候危機突破プロジェクト」の一環として、教室の内窓の設置を生徒たちも一緒に行い、その内窓設置による教室内の環境改善の検証結果を講演会で共有しました。具体的には、YKK AP商品開発本部 価値検証センターによる夏季・冬季の温熱効果や遮音効果の検証結果を基に、内窓設置による改善効果を詳しく説明しました。これにより、カーボンニュートラルへの理解促進や、「窓」の環境改善への重要性について生徒たちに理解を深めていただくことができました。



■ 地域貢献活動

富山県の「プロスポーツ×地域貢献活動」を支援

YKK APは2024年1月、富山県のプロスポーツチームの地域貢献活動等活性化事業に賛同し、県の企業版ふるさと納税の制度を活用してスポーツ振興に対して寄付金を贈呈しました。寄付金はプロバスケットボールチームが主催するイベント運営や地域貢献活動に使用されます。この寄付に対する感謝状の贈呈式が2024年2月に富山県庁にて開催されました。今後も行政と連携して各スポーツやチームの資源、特色を生かした活動を支援し、地元チームを応援する機運の醸成や、更なるスポーツの振興と地域の活性化を支援していきます。



YKK AP中国社が、最も愛のあるボランティア組織として表彰

YKK AP中国社が、2023年宝安区最も愛のあるボランティア組織として共青团深圳市宝安区委员会から初めて表彰されました。YKK AP中国社のボランティアチームは設立以来、地域貢献活動やボランティア活動など、さまざまな取り組みを展開してきました。特にコロナ禍後は、社会福祉活動に積極的に参加し、交通事故撲滅への働きかけや、児童発達支援施設への訪問、高齢者や障害者支援といった活動を推進してきました。このような取り組みが、愛のあるボランティア組織であると評価され、表彰に至りました。



マングローブ植樹で脱炭素に貢献

YKK APインドネシア社は社会貢献の一環として、2015年からタンゲラン地区の関連政府機関や農業パートナーと協力し、マングローブ保全に取り組んでいます。マングローブは二酸化炭素吸収量が非常に高く、脱炭素にも貢献できると考え、これまでに計31,000本の苗木を植樹してきました。2023年6月に植樹したのは「ブルギエラ・シリンドリカ」という品種。苗床で人間の援助が必要、かつ、年に1度しか種まきができないため、保護の必要がある希少なマングローブです。今後も継続してこの環境保全活動の取り組みを続けていきます。



■ 社会貢献活動一覧 [さらに詳細な情報](#)

次世代教育支援（国内）（2024年 6月現在）

対象者	活動名称	活動内容	実施拠点	2023年度実績
保育園児	芋堀り体験教室	社有地内の芋畑に招き、芋堀り体験を実施	九州製造所	437名
小学生	おしえて！！メダカ先生プロジェクト	理科の教材として、製造所内で育成したメダカを寄贈	九州製造所 東北製造所	3校（計150匹） 1校（計40匹）
	グリーンカーテン応援プロジェクト	小学校の窓際に、子どもたちと一緒にグリーンカーテンを設置	九州製造所	ゴーヤ苗配布80鉢1校、 以前グリーンカーテン設置箇所補修
	小学生工場訪問受入れ	滑川市からの要請で小学5年生の工場見学受入	滑川製造所	1校（66名）
中学生	企業訪問学習	修学旅行時の企業訪問学習	東北支社	2024年3月7日実施 （1校10名）
高校生	第4回SB Student Ambassador ブロック大会（四国大会・西日本大会・東日本大会・北陸大会）への参加	SDGsをテーマに高校生と企業が交流・議論するイベントの協賛企業として、「窓」から考えるサステナビリティの講演を通じて窓メーカーの視点からカーボンニュートラルを説明。	サステナビリティ推進部	参加者：75校、437名
	やつしろオシゴト探検フェア一般（社団法人八代青年会議所主催）	多くの学生に八代市内の企業の魅力や仕事内容を知ってもらうことを目的に開催。熊本支店 八代営業部と九州製造所が協賛企業として体験型を意識したブースを出展	九州製造所	2日間開催 APブースへの訪問 400名
	企業訪問学習	探究学習・キャリア教育の支援のため、長野県内の高等学校で内窓設置による教室内の環境改善結果を講演会で共有	関東信越支社	2023年11月30日実施 （1校280名）
子ども	無料社会体験アプリ「ごっこランド」への出店	子ども向け社会体験アプリ「ごっこランド」に、「窓」に関連する知育ゲーム「YKK APのおうちかいてきだいさくせん！」を出店	広報室	2021年10月から出店
	「うんこ おうちの安全ドリル まどとドア編」冊子・オンラインゲームの公開	子どもに人気の学習書「うんこドリル」とコラボレーションし、「うんこ おうちの安全ドリル まどとドア編」を制作・公開、冊子を全国の小学校へ寄贈	品質本部	513校の小学校に 73,910冊を寄贈

地域貢献（国内）（2024年6月現在）

対象者	活動名称	活動内容	実施拠点	2023年度実績
地域清掃参加者	花の苗、メダカの無料配布	県下一斉清掃活動「くまもと・みんなの川と海づくりデー」清掃活動参加市民へ苗、メダカ配布	九州製造所	苗：450鉢 メダカ：150匹
福祉施設	花の苗の寄贈	協力会社の福祉施設へ花の苗の寄贈	四国製造所	7カ所（各100鉢）
地域	花の苗の寄贈	宇多津秋の大収穫祭 花の苗贈呈		20名（2,000鉢）
保育園	クリスマスオーナメント材料提供	クリスマスツリーオーナメントに製造所内の松ぼっくりを提供	東北製造所	1園
地域住民	ホタルイカ祭りボランティア	ほたるいかミュージアム周辺で行われるお祭りのボランティア（ゲームコーナー）	滑川製造所	8名
	ふるさと龍宮まつりボランティア			8名
	HAPPY GREEN PJ	敷地内で栽培した樹木の苗木を東北製造所へ寄贈	九州製造所	30鉢
	YKKグループ夏祭り	隅田川花火大会に併せ、近隣住民及び社員にYKK60ビルの食堂と屋上を開放し「YKKグループ夏祭り」を開催	YKK60ビル	参加者224名 （内、近隣住民は125名）
	町内会主催の交通安全活動		北海道支社	1名
	フードバンクへの寄付	生活用品・食料品を会社で集め、必要とする方々へお渡しする「フードドライブ事業」を実施	黒部50ビル 黒部製造所 黒部越湖製造所 黒部荻生製造所	全4回寄付
			災害備蓄品のフードバンクへの寄付	東北支社
災害備蓄品（保存水・乾パン）のフードバンクへの寄付			北海道支社	1カ所
健康・医療	献血活動	製造所内で献血活動を実施	黒部製造所 黒部越湖製造所 黒部荻生製造所	YKKグループ社員309名
			九州製造所	90名
		工場敷地内で献血活動を実施	富山水橋工場	約10名
			岡山工場	約10名

地域イベントへの参加・協力	環境保全活動	県主催 環境保全活動参加協力「地下水保全活動」	九州製造所	5名
		県主催 環境保全活動参加協力「江津湖清掃活動」		3名
	植樹・清掃活動参加	「館山公園を復活させる会」植樹や清掃ボランティア	東北製造所	20名
	「エコフォーラム」への参画	県主催の「エコフォーラム」に参画し、県内企業と連携して廃棄物や省エネルギーなどの環境活動の情報交換を実施	東北製造所	1回
	久喜市環境推進協議会への参画	市と民間団体等が協働して環境保全と創造に向けた活動を推進、事例発表・意見交換等も行っている	埼玉窓工場	1回につき 1名参加
	「富山県資源循環社会モデルの創生」に賛同	富山大学を中核として進めている産学融合拠点構想プロジェクト「富山資源循環社会モデルの創成」に賛同し、寄付金を贈呈	YKK AP	1回目
	滑川市環境フェアへ参加協力	1ブースを使用し、環境への取組みをアピール パネル展示、商品サンプル、配布物等	滑川製造所	商品、カタログ展示 説明員として1名参加
	地域マラソン大会のボランティア	滑川市で行われている「ほたるいかマラソン」で給水担当で参加		8名
	とやま環境フェア	とやま環境フェア開催委員会主催の「とやま環境フェア」にYKKグループとして出展、環境への取り組みや商品を展示、来場者参加型企画の運営	黒部製造所 黒部越湖製造所 黒部荻生製造所 滑川製造所	商品、カタログ展示 説明員として2名参加
	マラソン大会の運営サポート	「カーター記念黒部名水マラソン」の共催として、大会の運営をサポート	黒部製造所 黒部越湖製造所 黒部荻生製造所 滑川製造所	YKKグループ社員 233名
	EARTH HOUR2024	世界中で同じ日・同じ時刻に消灯することで、地球温暖化防止と生物多様性保全への意思を示すアクションであり、190以上の国と地域が参加する世界最大級のイベント	国内14拠点	左記拠点参加のほか、 個人参加が2,191名
	TABLE FOR TWOへの参加	社員食堂で対象となるTFTヘルシーメニューを購入すると、代金の内開発途上国の給食1食分の金額にあたる20円が寄付となり、飢えに苦しむ子どもに給食1食分をプレゼントできるイベント	国内11拠点	20,093食 (20,093食提供)
	宇多津秋の例大祭参加	宇多津町の宇夫階神社例大祭の神輿担ぎ手で参加	四国製造所	30名
	宇多津臨海公園花壇の植栽	宇多津臨海公園花壇の植栽		44名
		工場周辺の定期的な清掃活動 (六甲アイランド地域振興会清掃活動)	六甲窓工場	4名
		春と秋に、工場周辺、及び 公共施設周辺の清掃活動を実施	滑川製造所	春・秋共に約300名
		滑川市制70周年記念事業 市民参加の一斉清掃活動「クリーンアップなめりかわ」に参加し、滑川駅、スパ―農道沿いを清掃		15名

		「宇多津町クリーン作戦」に参加し宇多津臨海公園周辺と周辺歩道を清掃		30名
		宇多津中央公園とその周辺の清掃活動を実施		35名
		宇多津臨海公園清掃ボランティア		25名
近隣地域	地域清掃活動	番の州道路（工場前通勤路）の清掃活動を実施（6月）	四国製造所	30名（30kg回収）
		番の州道路（工場前通勤路）の清掃活動を実施（9月）		8名
		沙弥島清掃ボランティア		16名
		大東川清掃		25名
		県下一斉清掃活動「くまもと・みんなの川と海づくりデー」に参加し球磨川河川敷一帯の清掃活動を実施	九州製造所	97名
		八代城跡石垣清掃ボランティア		5名
		工場周辺の清掃活動	富山婦中工場	約10名
			北海道工場	24名
		工場周辺の定期的な清掃活動（工場南側側溝清掃）	埼玉工場	40名/年
		工場周辺道路、側溝の定期的な清掃活動（アダプトプログラム）	山梨工場	41名/年
		工場周辺の定期的な清掃活動（工業団地内）	栃木工場	4名
		「春のクリーン作戦」として工場周辺の清掃活動（工場外周辺）	岡山工場	24名（上期14、下期10）
		春と秋にクリーン作戦として、工場周辺の清掃活動を実施	兵庫工場	14名
		工場周辺の清掃活動を実施（広島県三次工業団地清掃活動）	広島工場	2名
		千代田区主催の「千代田区一斉清掃の日」に参加し、事業所周辺の清掃活動を実施	YKK80ビル	年1回のみ実施 3名
		緑川の日一斉清掃活動	熊本甲佐工場	約50名
	農業用水路 清掃	熊本甲佐工場	6名	
	中城湾港地区清掃	沖縄工場	2名	
	工場周辺の定期的な清掃活動	六甲窓工場	72名	
	工場周辺の清掃活動	埼玉窓工場	200名	
製造所周辺国道沿いの草刈	東北製造所	29名		
製造所周辺のゴミ拾い		35名		

自主清掃活動	春と秋に、工場周辺の清掃活動を実施	富山水橋工場	27名/回
	製造所周辺ゴミ拾い活動	黒部荻生製造所	5名
	9/24～10/24に社内で開催した「YKK AP SDGs月間」にあわせて、「秋の海ごみゼロウィーク」に賛同した清掃活動を実施	国内27拠点	2,327名
	春に「名水マラソン前海岸清掃」として、海岸及び工場周辺の清掃を実施	黒部越湖製造所	200名
	早月川河口付近清掃ボランティア活動	滑川製造所	9名
	工場周辺の清掃活動	三重工場	約50名
環境保全活動	特定外来生物『オオキンケイギク』駆除	黒部荻生製造所	6名

次世代教育支援（海外）（2024年 6月現在）

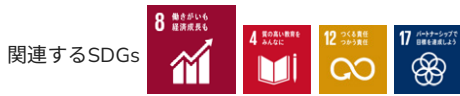
対象者	活動名称	活動内容	実施拠点	2023年度実績
子ども	教育支援	社員の家から募集した絵本、玩具、学習品を近所の小学校に贈与	YKK AP 大連社	175個
		地域の教育施設に中古PCを寄贈	YKK AP インドネシア社	5校、10台
地域の高校生（および教師）を対象とした、製造業やキャリアの機会について学ぶことができるイベント「マニユファクチャリング・デイ」に参加し、会社概要とCMUとの共同プロジェクトについて発表		YKK AP 北米テクノロジーズ社	活動実施	
大学生による職場訪問		YKK AP 台湾社	50名	
大学生		第8回江蘇科技大学「吉田建材杯」材料総合技能大会開催	YKK AP 蘇州社	75名

地域貢献（海外）（2024年6月現在）

対象者	活動名称	活動内容	実施拠点	2023年度実績	
健康・医療	献血活動	献血活動の実施	YKK AP アメリカ社	活動実施	
			YKK AP 台湾社	2回、77名	
イベントへの 参加・協力	イベント参加	カーボン・フリー・トラベリング、ヘルシー・ランニング・パンチカード・キャンペーン（全支店）参加	YKK AP 中国社	50名	
	EARTH HOUR2024	世界中で同じ日・同じ時刻に消灯することで、地球温暖化防止と生物多様性保全への意思を示すアクションであり、190以上の国と地域が参加する世界最大級のイベント	海外11拠点	活動実施	
近隣住民	技能開発	YKK AP SDGs月間ランチ&ラーニングセッション		150名、 5セッション	
	社会福祉	コート寄付活動		YKK AP アメリカ社	活動実施
		ドナルド・マクドナルド・ハウス・メーコン、食事と食料品の寄付			
		車いす通路の提供による退役軍人の住宅の品質向上活動			
		缶詰・生鮮食品の寄付活動（11月1日～15日）			
		脊髄性萎縮症の子どものために車椅子用スロープの製作を支援			
		おもちゃの寄付活動（12月1日～15日）			
		地元の慈善団体や困っている家庭に家具、家電を寄付			
		地域社会への生活必需品の寄付（米、食用油、インスタントラーメン、ケチャップなど）	YKK AP インドネシア社	120パッケージ	
		Shoes for Life活動（アフリカの恵まれない家庭に中古の靴、バックパック、衣類を寄付する活動）	YKK AP 台湾社	4箱	
	老人ホームへ寄付	YKK AP 大連社	12名		
ダウンタウン・ミッション缶詰ドライブ	エリーAP社	活動実施			
アルミニウム製形材、窓・ドア用部品および付属品などを教育機関の建築資材のために寄付	ポルーカ社	428の アルミ形材部品			
社会教育	地域文化活動の開催	YKK AP 蘇州社	20の児童が参加 20個の小記念品を贈呈		
資源活用	アンベリカ・リサイクル・デー（古い電化製品、電池、蛍光灯のリサイクル）	YKK AP アメリカ社	活動実施		

近隣住民	植樹・緑化活動	ケタパン都市養殖におけるマングローブの保全 (準備期間：2022年12月～2023年6月)	YKK AP インドネシア社	19名、5茎・樹木
		地域緑化活動への参加	YKK AP 蘇州社	10名、150鉢
		公園での植樹（蘇州支店+南京支店）	YKK AP 中国社	14名、7本
		植樹活動（構内にて植樹（桃樹））	YKK AP 大連社	29名、4本
		植樹イベント（工場近隣にて）	ポルーカ社	60名、40本
	清掃活動・美化活動	ダブリン・リバーズ・アライブ清掃デー	YKK AP アメリカ社	25名、6袋
		老人養護施設ボランティア活動	YKK AP 中国社	8名、5袋
		全国清掃デーに向けたアドプト・ア・ストリート清掃活動	YKK AP アメリカ社	10名
		2024年全国廃棄物啓発デーに参加 - 海岸清掃、マングローブ教育 - 廃棄物管理に対する意識の向上	YKK AP インドネシア社	60名
		ラン島パタヤでの清掃活動 -パタヤの自然環境を美しく維持するボランティア活動	YKK AP タイ社	16名、0.5袋
		ゴミ分別強化活動	YKK AP 蘇州社	300名
		9/24～10/24に社内で開催した「YKK AP SDGs月間」にあわせて、「秋の海ごみゼロウィーク」に賛同した清掃活動を実施	海外9拠点	848名
		工場内清掃活動	YKK AP 蘇州社	198名、65袋
		ゴミの分類を学び、会社周辺のゴミ拾い		20名、10袋
		野外環境保護活動（清掃）	YKK AP 中国社	10名、2袋
		街頭自主清掃（北京支店）		6名、2袋
		社外清掃活動（2回実施）	YKK AP 大連社	合計78名、30kg
		ポイ捨てゼロへの取り組み -工場敷地内および周辺地域の清掃	ポルーカ社	90名、30袋

ステークホルダーとの取り組み



■ 環境人材

YKK APは、環境政策の推進においてはその基盤となる人材の育成が重要であると考え、さまざまな環境教育や意識啓発を通じて、次代を担う環境人材の育成と、全員参加の環境活動に取り組んでいます。

■ 方針・考え方

YKK APの目指す姿

YKK APは、次世代に対してより良い社会・環境をつくるために、多様な人材を基盤とし、未来を見据えて新たな環境価値を創出することを目指します。

2023年度の統括と今後の展開

2023年度は、環境教育受講率100%を達成するとともに、全従業員を対象とした参加型の環境活動（SDGsアクション）についても、目標である98%以上の参加率となりました。今後も継続的に取り組み、従業員の意識啓発を図るとともに、環境保全活動の主体的な実践を推進します。

テーマ	2023年度計画	2023年度実績		2024年度計画
環境教育受講率 ^{※1}	100%	100%	○	100%
SDGsアクション参加率 ^{※1}	98%以上	夏：99%/冬：97%	○	98%以上

※1：YKK APグループ（国内）

■ 環境教育の推進

従業員への環境教育

全従業員を対象とした教育では、環境に関する基礎知識の習得や一人ひとりが主体的に環境活動に参加してもらうことを目的とした環境e-Learningを年1回実施しており、毎年100%の受講率となっています。最新の教材では、気候変動・資源循環・水・生物多様性の4つの環境課題と環境コンプライアンスについて、YKK APの事業活動を通じた取り組みと1人ひとりが意識し実践すべき行動について理解を促し、全従業員の環境意識の高揚を図りました。また、環境課題を自分のこととして捉え、行動を促すために、「環境行動カード」を作成し全従業員に配布しています。環境行動カードを通じて、YKK APの環境経営方針・環境方針を周知するとともに、部署の環境目標とそれに関連するSDGsのゴールなどを各自で記入し、日々意識して取り組んでいます。さらに、新入社員教育・管理者研修などの階層別教育のほか、営業・開発など部門に応じた教育にも、環境教育を組み込んでいます。

環境業務を担当する社員に対しては、外部講師による廃棄物リスクマネジメントセミナーや内部監査員養成セミナーなどの専門教育を実施し、必要な知識・スキルの習得を図っています。

全員参加の環境活動

YKK APでは、全従業員を対象とした参加型の環境活動を年2回開催しています。2023年度は、持続可能な社会のために私たちができることを考えて実践することを目標とした「SDGsアクション」と、気候変動が世界全体の課題となっている中、CO₂削減のためにできることを考えて実践することを目標とした「カーボンニュートラルアクション」を開催し、各自で選択したアクション項目にチャレンジしました。国内拠点では近年、98%以上の参加率を維持しており、2021年度からは海外拠点にも「SDGsアクション」を展開し国内外で取り組みを推進しています。

◆ 持続可能な社会のために私たちにできることを考え、実施しましょう ◆

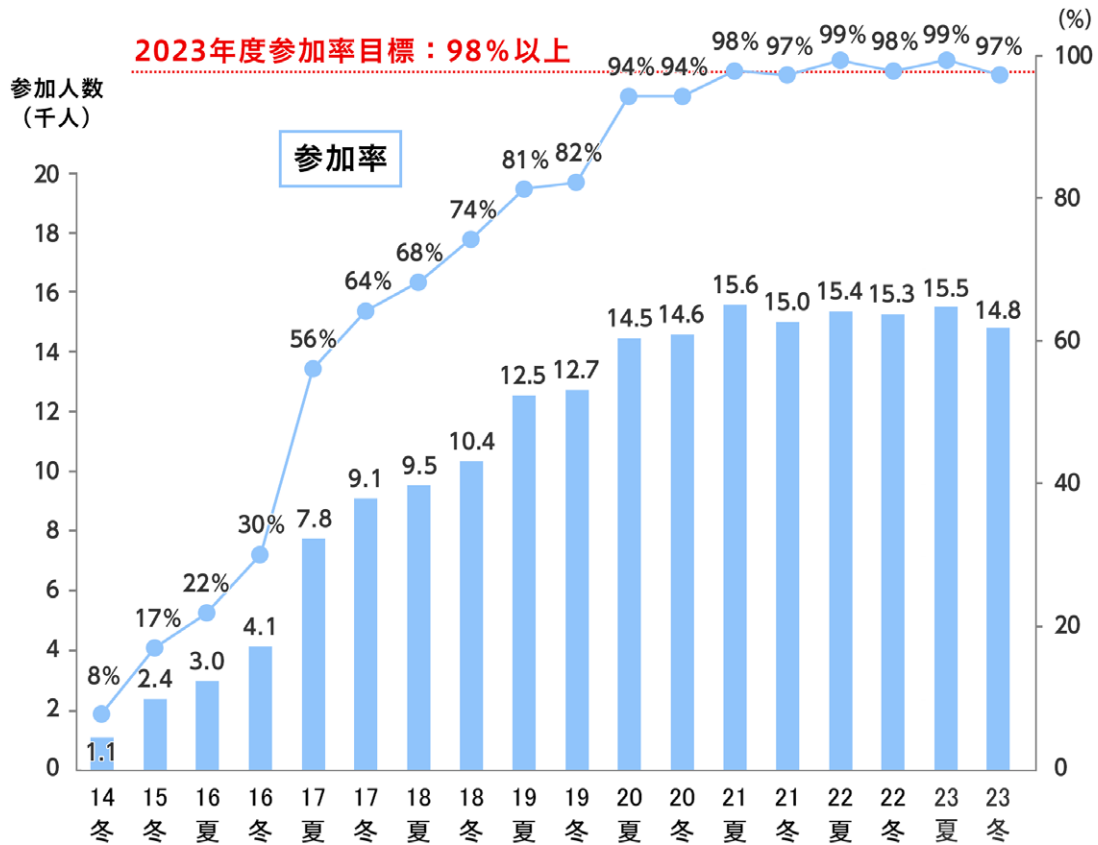
5/30(ごみゼロの日)～6/30に実施した環境(SDGs)アクションいくつかもチェックしてください。

ゴール	実施した内容	ゴール	実施した内容
 1 貧困をなくそう	1. 貧困をなくそう □ 使わないものは寄付する □ フェアトレード認証品について調べてみる □ フードバンクに食品・日用品を提供する	 10 人や国の不平等をなくそう	10. 人や国の不平等をなくそう □ 国と国との間で起きている不平等を知る □ ハラスメントをしない □ 不平等をなくするための取り組みを調べる
 2 飢餓をゼロに	2. 飢餓をゼロに □ 買い物の際は、「てまえどり」をする □ 訳あり品、規格外品を買う □ 期限表示への正しい知識を得る	 11 住み続けられるまちづくりを	11. 住み続けられるまちづくりを □ 緊急時の連絡方法を家族で確認する □ 飲料水や非常食などの備蓄品を確認する □ 家具の転倒防止対策を再確認する
 3 すべての人に健康と福祉を	3. すべての人に健康と福祉を □ 週に1日は休肝日を設ける □ 週2回以上運動をする □ 禁煙にチャレンジする	 12 つくる責任つかう責任	12. つくる責任つかう責任 □ リサイクル材で作られた商品を購入する □ 冷凍を利用してフードロス削減する □ アップサイクル品 ^{※1} を購入する
 4 質の高い教育をみんなに	4. 質の高い教育をみんなに □ SDGsについて自分たちができることを考えてみる □ 子供達に教材や文房具を送る運動に参加 □ リユース文庫を利用する	 13 気候変動に具体的な対策を	13. 気候変動に具体的な対策を □ CO ₂ 排出量の少ない交通手段を利用する □ 乾燥機を使わず、自然乾燥する □ 家庭菜園で野菜を栽培する
 5 ジェンダー平等を実現しよう	5. ジェンダー平等を実現しよう □ 家事の分担を書き出して話し合う □ ジェンダーレスなどの用語について調べてみる □ 敬意を持ち社内での「さん」付け推進を行う	 14 海の豊かさを守ろう	14. 海の豊かさを守ろう □ プラスチック製品の使用を減らす □ MSC認証やASC認証商品 ^{※2} を買う □ アニマルウェルフェアの商品を選ぶ
 6 安全な水とトイレを世界中に	6. 安全な水とトイレを世界中に □ 廃油回収に参加する □ すすぎ回数少ない洗剤を使う □ トイレ使用時に「大」、「小」のレバーを使い分ける	 15 陸の豊かさを守ろう	15. 陸の豊かさを守ろう □ 地域や企業がやっている植樹活動に参加する □ 資源回収BOXを利用する □ オンライン決済サービスを利用する
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに □ 冷蔵庫の温度は季節に合わせて管理する □ テレビを見ないときはこまめに消す □ 省エネ家電に買い替える	 16 平和と公正をすべての人に	16. 平和と公正をすべての人に □ 国際紛争や平和に関する記事を読む □ 平和・戦争に関する情報を次世代に伝える □ 国会で議論されている内容を調べる
 8 働きがいも経済成長も	8. 働きがいも経済成長も □ 有給休暇取得を増やす □ 地元の商店を利用する □ 地産地消で地域を盛り上げる	 17 パートナリシップで目標を達成しよう	17. パートナリシップで目標を達成しよう □ SDGsに関するイベントに参加する □ 困っている人がいたら、相談相手になる □ 専門(水・衛生など)分野で活動するNGOを知る
 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう □ エネルギー等のインフラについて調べてみる □ SDGsに取り組んでいる企業の商品を選ぶ □ Web会議等のオンラインツールを活用する	<p>※1: 再利用するために元々の製品や素材に手を加えた商品です。 例) 帆布を使ったバックなど</p> <p>※2: MSC/ASC認証は、「サステナブル・シーフード」の証です。 MSC認証: 水産資源と環境に配慮した漁業で獲られた天然の水産物の証。 ASC認証: 環境と社会への影響を最小限にして育てられた養殖の水産物の証。</p>	



SDGsアクション記録表

「SDGsアクション」参加率の推移



また、2023年度は、環境省の推進する「デコ活（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）」^{※1}の一環として開催された、「従業員参加型エコアクションチャレンジ（通称:ONE TEAM CHALLENGE）」にも参加しました。本取り組みは、NTTコミュニケーションズ株式会社（以下 NTT Com）とエヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社（以下 NTTコムウェア）が主催したものであり、NTT Comが提供するアプリケーション「Green Program for Employee」^{※2}に実践したエコアクションを登録すると、自身のエコアクションによるCO₂削減成果を数値として確認することができるようになっています。脱炭素への取り組みをより身近に「自分ごと」として捉え、個人から企業、企業から社会に脱炭素活動を加速させることを目指した取り組みであり、業界を超えた13社が参加しました。YKK APからは882名が参加し、21日間のチャレンジで7054.9KgのCO₂削減量となり、従業員の環境への知識・関心も高まりました。

01 **そもそも、脱炭素社会の実現カーボンニュートラルとは？**
地球温暖化の原因である「CO₂」をはじめとした温室効果ガスの排出を、実質ゼロにしようという取り組みです。
私たちの暮らしでCO₂の排出を完全にゼロにすることは不可能ですが、排出量をなるべく減らし、やむを得ず排出する分については植物が完全成長の際に大気中のCO₂を吸収してくれる特性を活かし、緑化・森林管理等といった別の形で吸収してもらうことで2050年までに地球全体として実質ゼロ（プラスマイナスゼロ）を目指そうというものです。

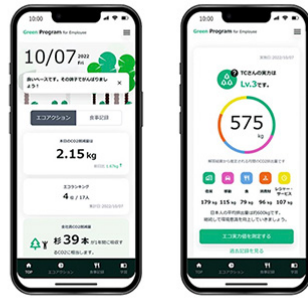
02 節約が大事過ぎて、何だか実践が湧かない。
通勤したり、マイボトルを使ったり、これって本質に意味があるのかな？
私1人がやらなくても大丈夫でしょ？
そんな風に思う人もいます。

03 でも実は、日本のCO₂排出量の約6割は飲食店を中心とする日常生活が排出したもので、国や企業が努力するだけでは実現は難しいんです。
だから、まずは簡単なところから。
例えば1日の仕事の中でも、こんな行動なら簡単にできるかもしれません！

04 **19:00** お家に帰ってから、例えば「お風呂を再配水にならないよう」に受け取るだけで、大きな効果があるんです！
宅配便の箱数のうち約15%が再配水。再配水を減らすと、年間7kgのCO₂を削減。

05 **15:30** 打ち合わせの移動は、タクシーを使わず徒歩・自転車・公共交通機関にする！
通勤・通学以外の移動を自動車以外に置き換えるだけで年間410kgのCO₂を削減。

06 **11:45** ランチタイムに、週に数回だけ「肉を減らした食事スタイル」に変える。これだけでも、年間環境配慮行動です！
例えば、主なタンパク質源を野菜や豆類に切り替えるだけで1食0.2kgのCO₂削減になります。



※1 環境省「デコ活（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）」のホームページ

https://ondankataisaku.env.go.jp/cn_lifestyle/index.html

※2 「Green Program for Employee」は、NTT Comが企業向けに提供する従業員の環境行動変容を支援する人材育成プログラムです。

<https://ondankataisaku.env.go.jp/decokatsu/activity/206.html>

<2023年度 環境・SDGs関連の教育実績>

月	内容	対象	受講者数
4月	環境管理教育（営業拠点が遵守すべき項目）	営業拠点の管理責任者・環境担当者	24名
5月	新入社員教育	全国採用の新入社員	135名
6月	SDGsアクション	全従業員	15,474名
	廃棄物リスクマネジメントセミナー	各拠点の環境責任者・マニフェスト交付者	228名
	環境eラーニング教育（環境自覚教育） ※パソコン環境のない従業員には、同内容の集合教育・自主学習を実施しています。	全従業員	14,237名
7月	内部監査員養成セミナー	環境ISO担当者	47名
8月・9月	海外赴任前研修	海外赴任予定者	7名
9月	環境省の推進する「デコ活」の一環として開催された「従業員参加型エコアクションチャレンジ（通称:ONE TEAM CHALLENGE）」に参加	参加希望者	882名
11月	eラーニングによるSDGsの学習	全従業員	11,273名
1月～2月	カーボンニュートラルアクション	全従業員	14,831名
2月	海外赴任前研修	海外赴任予定者	15名
2月～3月	サステナビリティ研修	国内・海外YKK APグループ（関係会社含む）全社員	8,564名